不拘営業成績依然宜敷カラズ昭和八年末迄無配当ヲ継続
セリ。然ルニ昨年末ニ至リ会社ハ株式市場ノ株価維持政策ノ為
メ配当可能ヲ推測セラルヽニ及ビ日本社員間ニ於テハ日本物
価ノ騰貴並ニ優良社員ノ転職等ヲ理由ニ政策的見地ヨリ昇
給ノ必要アリトシテ本社（ニューヨーク）ニ進言セシ処不計本社
ノ容認スル所トナリ最初現状ニ於テ一部社員ノ昇給（[illegible]日）
ヲ見ル又一面会社ハ従業員ニ対シテモ社員同様昇給ヲ為ス
コトヘノ用意中ノ処一月二十五日従業員ヨリ先手ヲ打テ昇給
嘆願セラルヽニ至リ其ノ結果三月十日各地ノ従業員ニ対シ一人
宛二銭乃至五十銭合計人員一六五名（鶴見八日給者